

# 令和元年度 第1回浜松市営住宅管理運営委員会 次第

日時：令和元年8月20日（火）午後1時30分～  
場所：浜松市役所本館5階 庁議室

課長あいさつ

委嘱書授与

委員自己紹介及び委員長・職務代理者選出

事務局の自己紹介

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議題

報告事項

- |                            |       |
|----------------------------|-------|
| (1) 市営住宅入居者募集について          | 【資料1】 |
| (2) 市営住宅の廃止について            | 【資料2】 |
| (3) 次期ストック総合活用計画について       | 【資料3】 |
| (4) 平成30年度の住宅使用料等の収納状況について | 【資料4】 |
| (5) 浜松市家族支えあい環境支援補助金事業について | 【資料5】 |

4 その他

5 閉会

### 平成31（令和元）年度 市営住宅募集スケジュール

	広報はまつ掲載	募集案内予定日	申し込み受付	抽選会	随時募集	資格審査書類提出期限	入居説明会	入居許可日	補欠者期限
第1回定期募集	4月5日号	4月19日(金)	5月7日(火)	5月23日(木) クリエート浜松 ふれあい広場	5月24日(金) 13:30	6月14日(金)	6月26日(水) 南部:クリエート浜松 北部:浜北文化センター	7月1日(月)	6月28日(金)
			から		から		6月27日(木) 南部:クリエート浜松 北部:みをつくし文化センター		
第2回定期募集	7月5日号	7月19日(金)	8月1日(木)	8月20日(火) クリエート浜松 ふれあい広場	8月21日(水) 13:30	9月17日(火)	9月26日(木) 南部:クリエート浜松 北部:浜北文化センター	10月1日(火)	9月30日(月)
			から		から		9月27日(金) 南部:クリエート浜松 北部:みをつくし文化センター		
初生団地 (新規住宅募集)	7月5日号	7月19日(金)	8月1日(木) から 8月9日(金)	8月20日(火)	8月21日(水) 13:30 から 9月19日(木)	9月17日(火)	10月7日(月)	11月1日(金)	9月30日(月)
第3回定期募集	10月5日号	10月22日(火)	11月1日(金)	11月21日(木) クリエート浜松 ふれあい広場	11月22日(金) 13:30	12月13日(金)	12月25日(水) 南部:クリエート浜松	1月1日(水)	12月27日(金)
			から		から		12月26日(木) 南部:クリエート浜松 北部:浜北文化センター		
			11月12日(火)		12月19日(木)		12月27日(金) 北部:みをつくし文化センター		
第4回定期募集	1月5日号	1月21日(火)	2月3日(月)	2月20日(木) クリエート浜松 ふれあい広場	2月21日(金) 13:30	3月16日(月)	3月26日(木) 南部:クリエート浜松 北部:浜北文化センター	4月1日(水)	3月31日(火)
			から		から		3月27日(金) 南部:クリエート浜松 北部:みをつくし文化センター		
			2月12日(水)		3月18日(水)				

令和元年度 第1回入居者定期募集結果報告

管理グループ

- 1 募集期間 令和元年5月7日(火)～5月15日(水)
- 2 募集方法 ①広報はままつ(4月5日号)、②市ホームページ、③指定管理者ホームページ、④遠州鉄道(電車・バス)電光掲示板、⑤本庁舎本館椅子広告、⑥本庁舎モニター広告
- 3 応募方法 持参または郵送
- 4 募集戸数 86戸(うち、単身入居可 51戸)
- 5 応募者数 47人
- 6 募集結果 下記①、②、③及び「資料2」を参照
- 7 抽選会 令和元年5月23日(木)
- 8 入居説明会 令和元年6月26日(水)・27日(木)
- 9 入居日 令和元年7月1日(月)
- 10 随時募集期間 令和元年5月24日(金)～6月18日(火)

年代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
人数	7人	7人	7人	3人	11人	7人	5人
男女別	男性	女性	単身・同居		単身	同居	
人数	23人	24人	人数		15人	32人	
世帯数	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	6人世帯	
人数	15人	20人	7人	4人	1人		

① 定期募集倍率

単位：戸、世帯、倍

項目	令和元年度					平成30年度														
	第1回					第3回					第2回					第1回				
	募集戸数	応募総数	応募倍率	仮当選者数	随時募集数	募集戸数	応募総数	応募倍率	仮当選者数	随時募集数	募集戸数	応募総数	応募倍率	仮当選者数	随時募集数	募集戸数	応募総数	応募倍率	仮当選者数	随時募集数
中区	20	19	0.95	10	10	17	17	1.00	10	9	23	21	0.91	11	12	20	21	1.05	10	7
東区	10	1	0.10	1	9	11	7	0.64	5	6	15	14	0.93	7	8	14	13	0.93	6	8
西区	8	3	0.38	2	6	15	8	0.53	4	11	15	8	0.53	7	8	16	11	0.69	9	7
南区	7	3	0.43	3	4	11	7	0.64	4	7	13	2	0.15	2	11	11	4	0.36	4	7
北区	13	5	0.38	4	9	15	7	0.47	6	9	24	9	0.38	9	15	23	8	0.35	8	15
浜北区	10	14	1.40	6	4	11	16	1.45	8	3	17	8	0.47	7	10	15	14	0.93	10	5
天竜区	19	2	0.11	2	17	8	3	0.38	3	5	12	3	0.25	2	10	32	3	0.09	3	29
合計	87	47	0.54	28	59	88	65	0.74	40	50	119	65	0.55	45	74	131	74	0.56	50	78

② 定期募集状況(単身・外国人・母子) 重複有

単位：世帯、%

項目	単身										外国人				母子							
	応募数					応募数計	応募率	仮当選数					仮当選数計	仮当選率	応募数		仮当選数		応募数		仮当選数	
	高齢	障害	若年	生活保護	その他			高齢	障害	若年	生活保護	その他			応募数	応募率	仮当選数	仮当選率	応募数	応募率	仮当選数	仮当選率
中区	5	1		1		7	36.8	1			1		2	20.0	5	26.3	3	30.0	4	21.1	2	20.0
東区						0	0.0						0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
西区	1	1				2	66.7	1	1			2	100.0	0	0.0	0	0.0	1	33.3	0	0.0	
南区	1		1			2	66.7	1		1		2	66.7	2	66.7	2	66.7	1	33.3	0	0.0	
北区	1					1	20.0	1				1	25.0	0	0.0	0	0.0	2	40.0	2	50.0	
浜北区	4	2	2			8	57.1	1	1	1		3	50.0	1	7.1	0	0.0	4	28.6	3	50.0	
天竜区	1					1	50.0	1				1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
合計	13	4	3	1	0	21	44.7	6	2	2	1	0	11	39.3	8	17.0	5	17.9	12	25.5	7	25.0

③ 定期募集状況(特定目的別)

単位：戸、世帯

項目	特定公共賃貸		福祉施策		改良		高齢者等世帯向け		老人ペア		20歳以上単身		心身障害者		シルバー		定住促進		子育て世帯向け	
	募集戸数	応募数	募集戸数	応募数	募集戸数	応募数	募集戸数	応募数	募集戸数	応募数	募集戸数	応募数	募集戸数	応募数	募集戸数	応募数	募集戸数	応募数	募集戸数	応募数
中区			1	0	1	1			1	0										
東区							2	1												
西区																			1	0
南区			1	0							1	0								
北区																				
浜北区																				
天竜区	2	0									2	0					2	0		
合計	2	0	2	0	1	1	2	1	1	0	3	0	0	0	0	0	2	0	1	0

令和元年度 第1回市営住宅入居者定期募集・応募及び仮当選状況

区	管理区分	募集団地名	タイプ	年度	構造	単身	管理戸数(戸)	空家戸数(戸)	入居率(%)	募集戸数(戸)		応募数		抽選玉数	申込倍率	応募世帯分類 ※下線は2倍確率を含む合計数						仮当選世帯分類						備考		
										うち母子・父子優先枠	通常確率	2倍確率	日本人世帯			外国人世帯			応募世帯合計	日本人世帯			外国人世帯			仮当選世帯合計				
													一般			単身	母(父)子	一般		単身	母(父)子	一般	単身	母(父)子						
																									一般		単身		母(父)子	一般
中	一般	和合(馬生)団地		H4	RC4階建		64	7	89.1	1		1	1	1.00			1				1				1					
		高丘団地	A	S50	RC5階建	可	50	8	84.0	2		5	5	2.50		4		1				5		1		1				
			B	S51	RC5階建	可	34	7	79.4	2	1			0.00								0				0	随時2戸			
		葵西二丁目団地	A	S52	RC5階建	可	17	2	88.2	1		2	2	2.00	1			1				2	1				1			
			B	S52	RC5階建		30	6	80.0	2				0.00								0					0	随時2戸		
		葵西四丁目団地	A	S50	RC5階建	可	48	8	83.3	2				0.00								0					0	随時2戸		
		法枝団地	A	H2	RC3階建		18	4	77.8	1				0.00								0					0	随時1戸		
			B	H2	RC3階建		18	2	88.9	1		2	2	2.00	1			1				2			1		1			
	住吉二丁目団地		H5	RC4階建		48	3	93.8	1		4	4	4.00				2	2			4			1			1			
	萩丘団地		S58・59	RC3・4階建		106	17	84.0	3		2	2	0.67	2							2	2					2	随時1戸		
萩丘(丘)団地		H17	RC4階建		22	1	95.5	1		2	1	3	3.00	1			1			2			1			1				
老人ペア	葵西四丁目団地	B	S50	RC5階建		8	5	37.5	1			0	0.00							0						0	随時1戸			
福祉施策	花川団地	福祉	S49	RC5階建	可	50	22	56.0	1			0	0.00							0						0	随時1戸			
改良	富吉団地		S52・53	RC3階建	可	113	13	88.5	1		1	1	1.00		1					1		1				1				
中区計						9	626	105	83.2	20	1	19	1	20	1.00	5	5	4	5	0	0	19	3	2	2	3	0	0	10	随時10戸
東	一般	鷺の宮団地	A	S61~H4	RC3・4階建		560	149	73.4	6	1		0.00							0						0	随時6戸			
			B	S61~H2	RC3・4階建					2			0.00									0						0	随時2戸	
	高齢者	笠井新田団地	A	H16	RC3階建		21	1	95.2	1				0.00						0							0	随時1戸		
			B	H16	RC3階建		9	2		1	1	1.00	1							1	1						1			
東区計						0	560	149	73.4	10	1	1	0	1	0.10	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	随時9戸
西	一般	西山団地		H6	RC4階建		40	7	82.5	1		2	2	2.00	1			1			2	1					1			
		瞳ヶ丘団地		S49	RC5階建	可	120	34	71.7	2				0.00							0						0	随時2戸		
		第2浜表団地		S54	RC3階建	可	114	47	58.8	2				0.00							0						0	随時2戸		
		今切団地		H3	RC3階建	可	66	22	66.7	1				0.00							0						0	随時1戸		
	子育て	湖東団地(H25改修)		S46	RC5階建		90	18	80.0	1				0.00							0						0	随時1戸		
西区計						6	518	145	72.0	8	0	3	0	3	0.38	1	1	1	0	0	0	3	1	1	0	0	0	0	2	随時6戸
南	一般	小沢渡団地		H1	RC3階建	可	34	4	88.2	1		1	1	1.00						1	1					1	1			
		遠州浜団地(建替)	A	H7・H13	RC6階建	可	340	93	72.6	2		2	1.00		1		1			2		1		1			2			
			B	H9	RC3・4階建	可				1			0.00									0						0	随時1戸	
		遠州浜団地(既存)		S45	RC4階建	可	305	85	72.1	1				0.00						0							0	随時1戸		
	20歳以上単身可	中田島団地		S56	RC5階建	若可	992	467	52.9	1				0.00							0						0	随時1戸		
福祉施策	遠州浜団地(建替)	福祉	H11	RC3階建	可	61	40	34.4	1				0.00							0						0	随時1戸			
南区計						6	1,732	689	60.2	7	0	3	0	3	0.43	0	1	0	1	0	1	3	0	1	0	1	0	1	3	随時4戸
北	一般	豊岡団地	A	S51	RC5階建	可	140	35	75.0	2				0.00						0							0	随時2戸		
			B	S51	RC5階建					1													0						0	随時1戸
		刑部団地		H9	RC4階建		28	7	75.0	2		1	1	0.50				1			1			1			1	随時1戸		
		坂田団地	A	H5	RC4階建	可	24	4	83.3	1				0.00							0							0	随時1戸	
			B	H5	RC4階建					1			0.00										0						0	随時1戸
		金指団地		H1	RC3階建	可	40	9	77.5	1		1	1	1.00				1			1			1			1			
		湖東北団地		S60	RC4階建	可	24	6	75.0	1				0.00							0						0	随時1戸		
		井伊谷団地		H23	RC2階建		28	4	85.7	1		2	2	2.00	2						2	1					1			
	大苗代団地	A	H21	RC5階建	可	56	4	92.9	1		1	1	1.00		1					1		1					1			
B		H21	RC5階建		1						0.00											0						0	随時1戸	
摩訶耶団地		H3	RC4階建	可	34	3	91.2	1				0.00								0						0	随時1戸			
北区計						7	374	72	80.7	13	0	5	0	5	0.38	2	1	2	0	0	0	5	1	1	2	0	0	0	4	随時9戸

令和元年度 第1回市営住宅入居者定期募集・応募及び仮当選状況

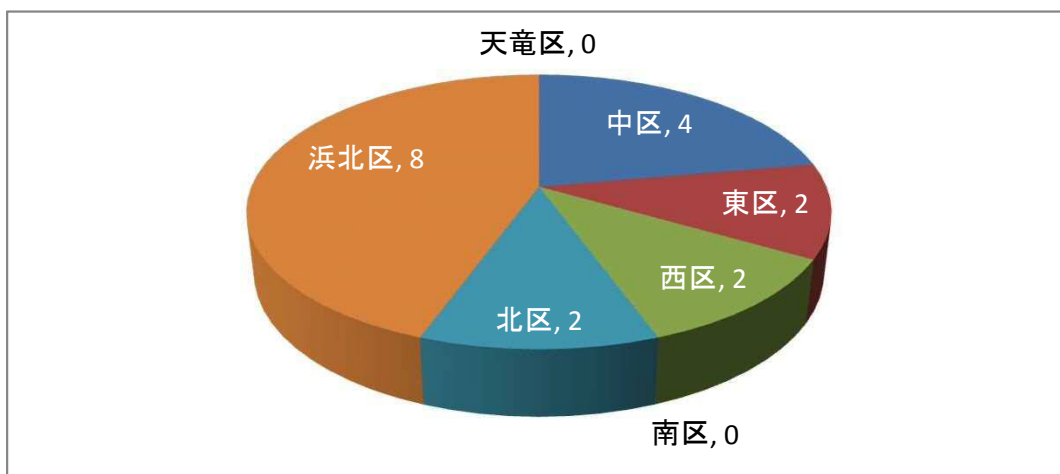
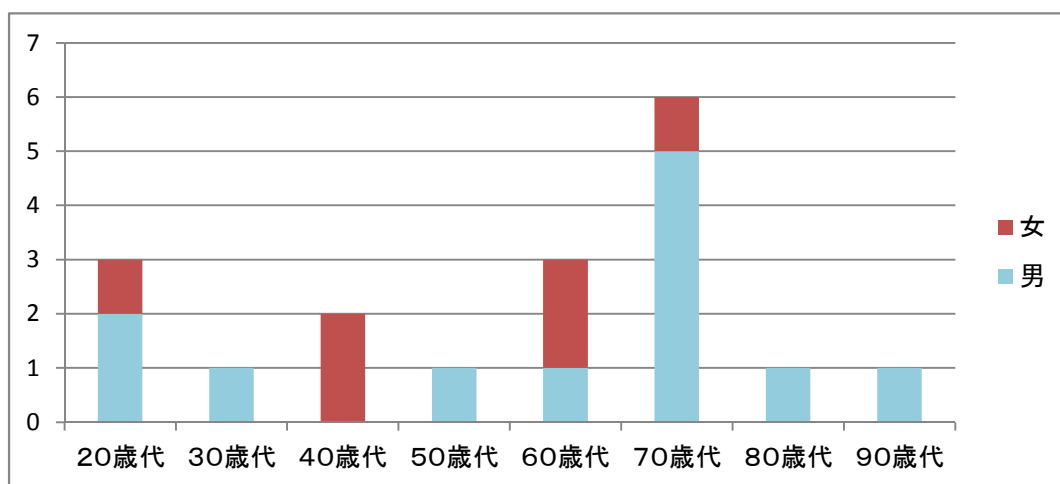
区	管理区分	募集団地名	タイプ	年度	構造	単身	管理戸数(戸)	空家戸数(戸)	入居率(%)	募集戸数(戸)		応募数		抽選玉数	申込倍率	応募世帯分類 ※下線は2倍確率を含む合計数						仮当選世帯分類						備考		
										うち母子・父子優先枠	通常確率	2倍確率	抽選玉数/募集戸数			日本人世帯			外国人世帯			応募世帯合計	日本人世帯			外国人世帯			仮当選世帯合計	
																一般	単身	母(父)子	一般	単身	母(父)子		一般	単身	母(父)子	一般	単身			母(父)子
																一般	単身	母(父)子	一般	単身	母(父)子		一般	単身	母(父)子	一般	単身			母(父)子
浜北	一般	高畑団地		S53	RC3階建	可	36	5	86.1	2		3	3	1.50	1	1	1				3		1	1				2		
		下小林団地	A	S61	RC3階建	可	120	12	90.0	1		7	7	7.00	1	4	1	1				7		1					1	
			B	S61~H1	RC4階建					2		1	1	0.50			1				1			1						1
		法師軒団地	A	H3	RC4階建	可	80	12	85.0	1					0.00							0							0	
			B	H5	RC4階建	可				1				0.00									0							0
		根堅団地		S60	RC3階建	可	24	3	87.5	1					0.00							0							0	
		宮口団地	A	H9	RC4階建	可	52	11	78.8	1		1	1	1.00			1					1			1				1	
B	H7		RC4階建	可	1					2	2	2.00	1	1							2	1						1		
浜北区 計						8	312	43	86.2	10	0	14	0	14	1.40	3	6	4	1	0	0	14	1	2	3	0	0	0	6	随時4戸
天竜	一般	大谷団地	A	H6	RC4階建	可	40	11	72.5	2		2	2	1.00	1	1					2	1	1					2		
		天神団地		S61~S62	RC3階建	可	76	21	72.4	2				0.00							0							0		
		浦川団地		H5	RC3階建	可	9	2	77.8	1				0.00							0							0		
		山香団地		H13	木造平屋建	可	4	1	75.0	1				0.00							0							0		
		水窪団地		S54	RC3階建	可	9	7	22.2	3				0.00							0							0		
		戸倉団地		H6	木造2階建	可	6	3	50.0	2				0.00							0							0		
	20歳以上単身可	大谷団地	B	H1~H5	RC4階建	若可	153	52	66.0	2				0.00							0							0		
			C	H2	RC3階建	若可				1				0.00								0							0	
			田組西団地		S58	RC4階建	若可	26	10	61.5	1				0.00						0							0		
	定住促進		戸倉団地		H12	木造2階建	若可	4	4	0.0	1				0.00						0							0		
	定住促進		下平山団地		H13	木造2階建	若可	2	2	0.0	1				0.00						0							0		
	特公賃		平木団地	A	H12	木造3階建	若可	10	5	50.0	1				0.00						0							0		
	特公賃		平木団地	B	H12	木造3階建	若可	6	1	83.3	1				0.00						0							0		
天竜区 計						11	345	119	65.5	19	0	2	0	2	1	1	1	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	2	随時17戸
合計						47	4,467	1,322	70.4	87	2	47	1	49	0.56	13	15	11	7	0	1	47	7	8	7	4	0	1	27	随時59戸

## 令和元年度 第1回市営住宅定期募集アンケート結果

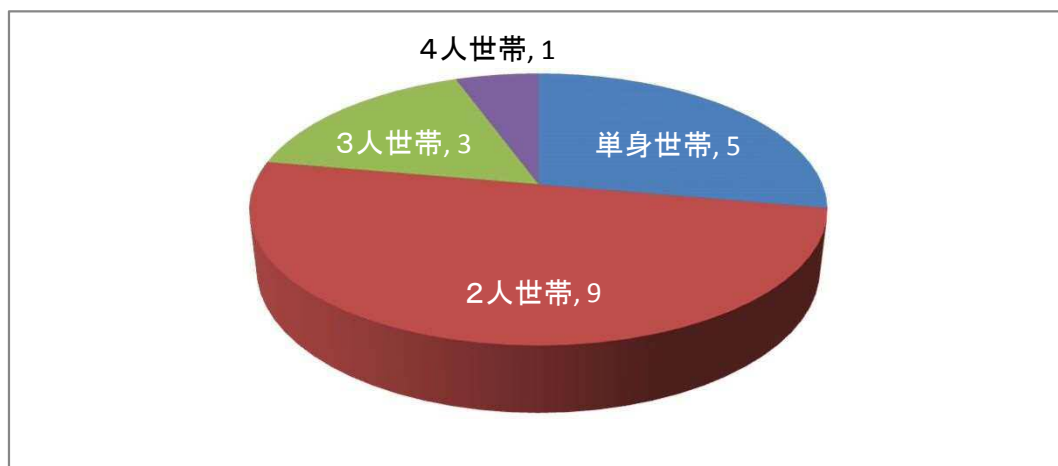
応募総数 47件      うち、アンケート回答 18件      回答率 38.30%

### Q1：応募について

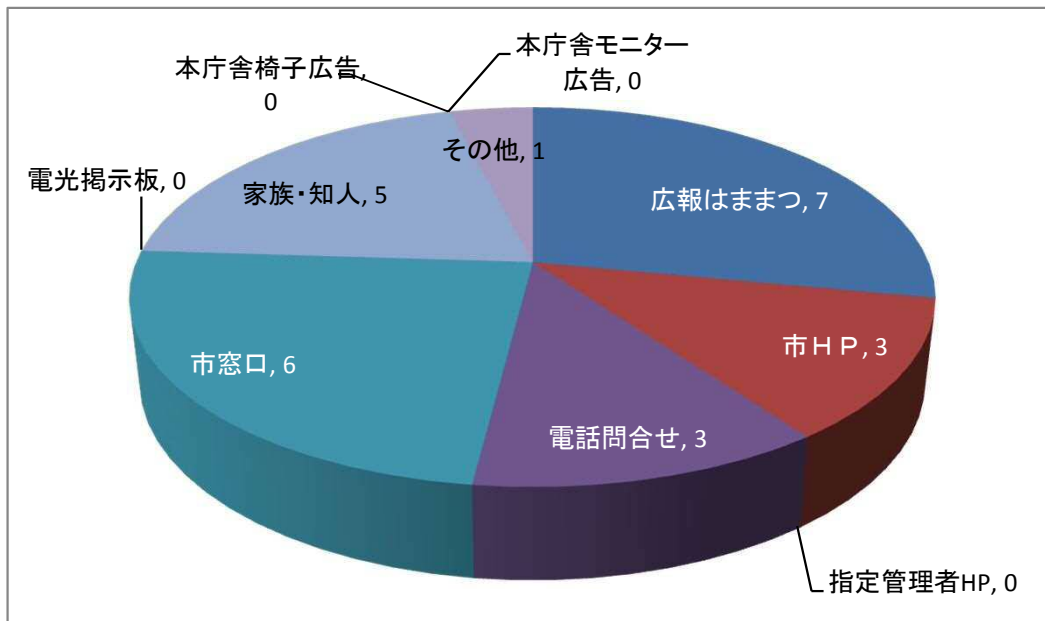
#### (1) 名義人について（年代、性別、居住地）



#### (2) 世帯構成について

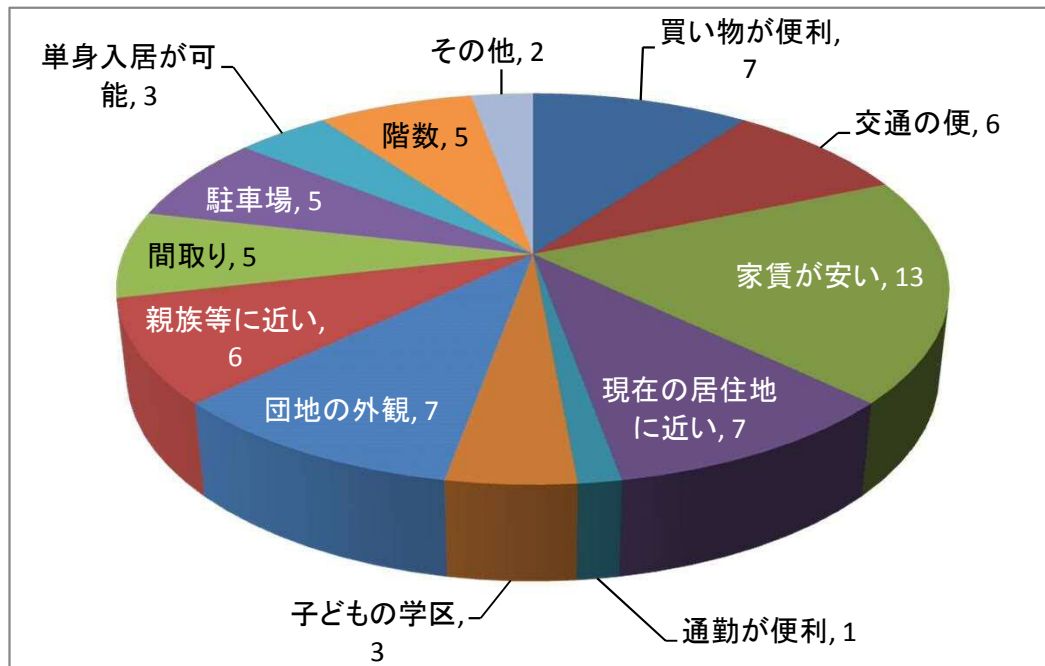


Q 2 : 募集をどこでしましたか？ (複数回答あり)



その他： ケアマネージャーから

Q 3 : 応募した団地の選定理由は？



その他： 郵便局が近い、民間家賃が上がる

## 市営住宅の廃止について

管理グループ

### 1 背景

市営住宅は、住宅セーフティネットの役割を果たしつつ効率的・効果的な供給が求められている。これを受け、耐用年数が経過していない住棟については長寿命化を図り、住宅機能を維持している。

これに対し、耐用年数を経過し、需要の動向、費用対効果などの総合的な判断から、大規模な修繕を実施することが困難な住棟・住戸については統廃合又は用途廃止を推進する。

### 2 経緯

平成24年3月に策定した「浜松市営住宅ストック総合活用計画」に基づき、市営住宅の統廃合を進めている。今回の篠原団地（西区）及び西四村団地（北区）については、建物の老朽化が著しいため廃止することとした。

### 3 市営住宅の廃止

令和元年6月21日付 浜松市条例第18号において、浜松市営住宅条例の一部を改正し、当該2団地を削除した。

今後は既存入居者の移転交渉を進め、順次建物の解体を行う。



## 浜松市営住宅条例の一部改正について

### (提案理由)

施設の老朽化に伴い、篠原団地及び西四村団地を廃止するため、条例の一部を改正するものです。

	概 要
(1)名 称	浜松市営住宅篠原団地
(2)所 在 地	浜松市西区篠原町 3963 番地の 1
(3)構 造	木造
(4)施 設 概 要	市営住宅 5 棟 5 戸
(5)建 築 時 期	昭和 29 年度
(6)土地の状況	市有地
(7)今後の方針	廃止(建物解体)

	概 要
(1)名 称	浜松市営住宅西四村団地
(2)所 在 地	浜松市北区引佐町栃窪 662 番地の 1
(3)構 造	プレキャストコンクリート造
(4)施 設 概 要	市営住宅 2 棟 10 戸
(5)建 築 時 期	昭和 48 年度
(6)土地の状況	市有地
(7)今後の方針	廃止(建物解体)

### (改正内容)

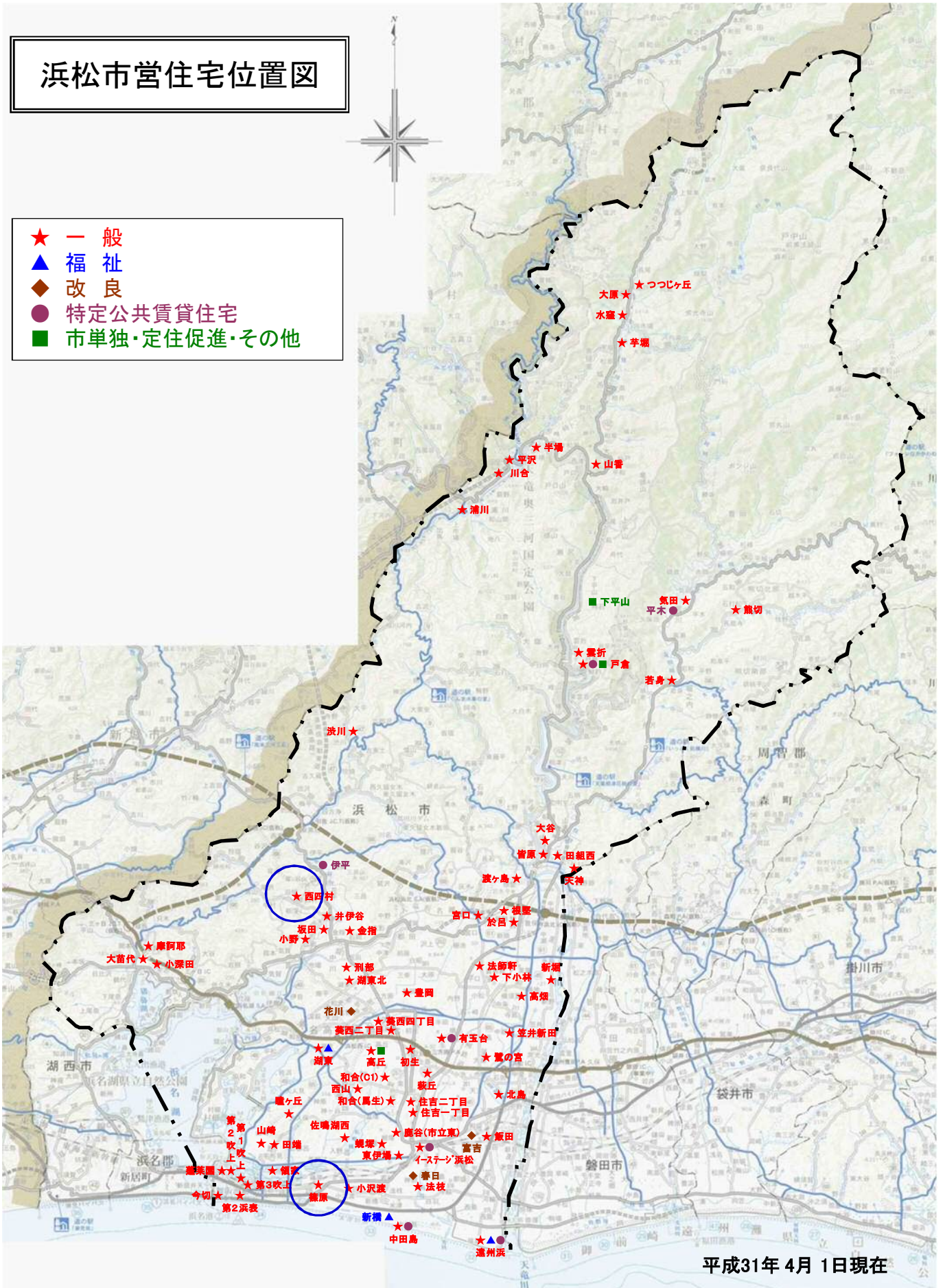
篠原団地及び西四村団地の廃止に伴い、一般住宅の名称及び位置を定めた別表第 1 の 1 から当該 2 団地の項を削るものです。

### (施行期日)

この条例は、規則で定める日から施行するものです。

# 浜松市営住宅位置図

- ★ 一般
- ▲ 福祉
- ◆ 改良
- 特定公共賃貸住宅
- 市単独・定住促進・その他



位置図

①浜松市営住宅篠原団地



②浜松市営住宅西四村団地



## 次期ストック総合活用計画について

## ○計画の目的

「浜松市営住宅ストック総合活用計画」とは、市営住宅の現状と課題を把握し今後の各団地・住棟の活用方針や整備内容を明らかにするとともに、長寿命化によるライフサイクルコスト（LCC）の削減と事業量の平準化を目的に策定したもの。

計画期間は平成23年度から平成32年度（令和2年度）までの10年間。

## ＜計画時の目標及び実績＞

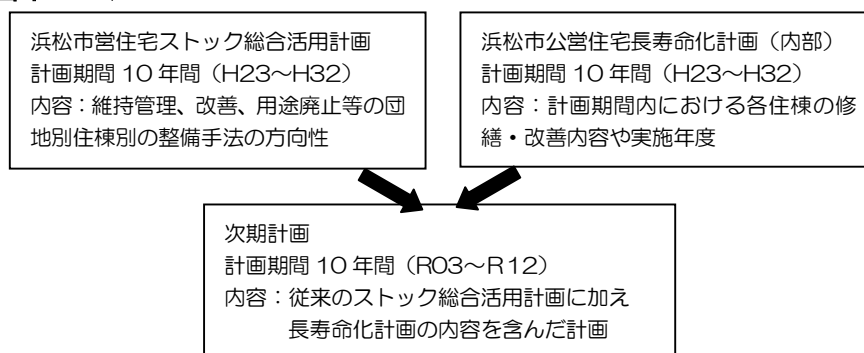
	当初 (平成23年度)	目標値 (令和2年度)	実績値 (平成30年度末)	達成率
団地数	99	81	81	100.00%
住棟数	512	364	405	89.88%
住戸数	6,288	5,860	5,931	98.80%

- ・近年の整備事例
  - 大苗代団地（H20～H22） 3棟56戸
  - 井伊谷団地（H22～H23） 2棟28戸
  - 初生団地（H28～R01） 1棟51戸
- ・主な改修内容
  - 外壁改修、屋上防水改修、給水方式の変更、ガス管改修

## ○次期計画の方針

従来のストック総合活用計画で示していた市営住宅の団地別住棟別の整備手法（維持管理、改善、用途廃止等）の方向性に加え、国の公営住宅等長寿命化策定指針に基づいて、長々期（30年程度）の公営住宅の在り方、定期的な点検、予防保全的な維持管理を含む内容にしていく。

## 次期計画イメージ



## ○次期計画の目的

市営住宅ストックの状況を把握し、目標設定等を行い、適切な手法選定のもと、今後の各団地、各棟の整備方針や整備内容を明らかにするとともに、適切な点検、修繕、データ管理等を行い、長寿命化による更新コストの削減と事業量の平準化を実現し、住宅セーフティネットの維持を図ることとする。

## ○団地別住棟別の活用手法の選定方針

※国の「公営住宅等長寿命化策定指針」に示された以下の項目について検討を行い、方針を明らかにします。

### ・経過年数を考慮した選定

木造・簡耐平屋 30 年、簡易耐火 45 年、耐火 70 年を耐用年数とし、2030 年を基準として経過年数による判断

### ・需要を踏まえた選定

過去 1 年間の応募状況による判断

### ・効率性を踏まえた選定

敷地の所有区分、敷地条件（都市計画区域外・1000 m<sup>2</sup>以下の狭小敷地、敷地形状）による判断

### ・立地の利便性を踏まえた選定

利便性（公共交通・教育施設・医療施設が 1Km 以内に存在）による判断

### ・居住性を踏まえた選定

台所、浴室、洗面脱衣室、洗濯機置き場の設置状況、3 点給湯設備、電気容量の確保、住棟内外の高齢者対応による判断

### ・LCC や建替事業量の試算比較を踏まえた選定

改善と建替の LCC 比較や、計画期間内の建替事業量の試算を踏まえ「改善」か「建替」を仮設定

## ○長寿命化に関する基本方針

※長寿命化を念頭に以下の項目について検討を行い、方針を明らかにします。

- ・定期点検及び日常点検の対象項目、点検内容、実施方法等。
- ・点検結果等に基づく修繕の実施方針、実施方法、実施次期等。
- ・点検結果や実施した修繕内容のデータ管理方法。
- ・改修工事の実施による長寿命化及びライフサイクルコストの縮減。

## 平成30年度の住宅使用料等の収納状況について

これまでの収納状況

平成19年の浜松市債権管理条例の制定をはじめとした全庁的な債権管理の取り組みの中で、住宅課も未納解消への取り組みをすすめ、特に平成24年度以降、連帯保証人への滞納家賃の催促の強化したことで年々収納率が向上し、平成30年度まで連続して収納率が向上している。

【資料】住宅使用料(家賃)の年度別収納率一覧表

(単位：円)

区分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
現年度	調定額	1,290,541,550	1,248,079,707	1,204,546,515	1,147,635,825	1,098,663,277
	収納額	1,278,079,041	1,237,313,311	1,195,397,637	1,139,435,645	1,092,125,470
	収納率	99.03%	99.14%	99.24%	99.29%	99.40%
過年度	調定額	143,989,624	119,568,402	99,798,694	76,010,604	55,265,850
	収納額	24,699,665	28,518,904	29,927,226	21,314,831	15,986,088
	収納率	17.15%	23.85%	29.99%	28.04%	28.93%
年度計	調定額	1,434,531,174	1,367,648,109	1,304,345,209	1,223,646,429	1,153,929,127
	収納額	1,302,778,706	1,265,832,215	1,225,324,863	1,160,750,476	1,108,111,558
	収納率	90.82%	92.56%	93.94%	94.86%	96.03%

過年度調定額については、収納による減の他に、不納欠損、調定変更により減額する場合がある。

【参考】連帯保証人に対する滞納整理の内容

- ・クレームにより催告書の発送を保留していた連帯保証人についても催告を徹底した。
- ・名義人同様に連帯保証人も支払督促、訴訟などの法的措置の対象とした。
- ・滞納者の資力が足りない場合は、すみやかに連帯保証人に連絡し、経済支援や自主退去指導などの協力依頼をした。
- ・平成24年の連帯保証人催告強化に備えて、平成23年度秋に連帯保証人への通知を「完納指導依頼書」から「連帯債務履行催告書」に切り替えたところ、一時的に連帯保証人の滞納分の支払いが増加した。
- ・平成27年度から、死亡した連帯保証人の相続人に対する催告を開始した。

今後の滞納額縮減への取り組み

- ・平成30年度は退去した高額滞納者に対し、給与差押えを2件執行した。今後も退去滞納者で十分な財産のあるものについては、条件が整い次第、回収をしてゆく。
- ・今年度から非常勤職員による1ヵ月滞納者への総当たり電話催告を開始した。これにより現年分の納付を徹底させ、次年度への滞納繰越額の縮減を図る。

## 浜松市家族支えあい環境支援補助金事業について

家族支えあい環境支援補助金は、浜松市“やらまいか”総合戦略の「子育て世代を全力で応援するまち」として、子どもを産み育てやすい住生活の実現に向けた奨励としての意味を持つ支援策としての事業

### 1 補助対象者

- ・新たに同居又はみなし同居（近居）する小学生以下の子がいる子世帯と親世帯  
○同居：同一住戸に居住 ○みなし同居：ごく身近に行き来できる距離内(100m内)に居住
- ・親世帯または子世帯が市内に1年以上居住
- ・親世帯と子世帯は直近1年超同居していない

### 2 補助内容

住宅新築・取得費用（市街化区域内に限る）、増築・改修費用、引越移転費用、解体（住替え前の住宅または改築のために解体する住宅で昭和56年以前の住宅に限る）費用の1/2以下を補助

対象事業	引越移転	新築・取得	増築・改修	解体
補助額（上限）	100千円	400千円	400千円	500千円

### 3 事業期間

平成29年度から令和元年度の3年間

### 4 過年度実績

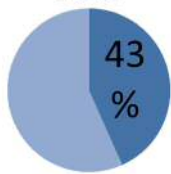
H29年度		実世帯:100世帯			
H29年度	引越移転	新築・取得	増築・改修	解体	合計
補助金額(千円)	3,661	10,800	6,086	3,548	24,095
件数	88	27	16	8	139
1件当たり(千円)	42	400	381	444	174
市外:8世帯	6	1	2	0	9
H30年度		実世帯:106世帯			
H30年度	引越移転	新築・取得	増築・改修	解体	合計
補助金額(千円)	3,666	25,200	5,200	5,486	39,552
件数	79	63	13	12	167
1件当たり(千円)	47	400	400	458	237
市外:13世帯	9	7	3	0	19

◆ 平成29年度、平成30年度利用者へのアンケート結果

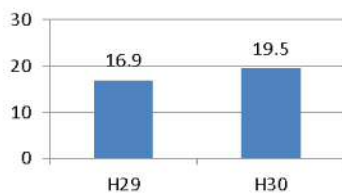
【事業効果】

・ 412世帯が核家族から同居等の多世帯化が図られた。(H29:200世帯、H30:212世帯)

子どもの数<子供部屋数の割合



理想の子ども増加した人



・ 申請図面を確認すると申請の子ども数より子ども部屋が多い世帯が43.3% (H29:51.9%、H30:39.7%) にあがり、出生率向上に寄与している。アンケートの結果からもH29:16.9人、H30:19.5人が同近居前に比べて理想の子ども数が増えている。

当補助金関連の経済効果額

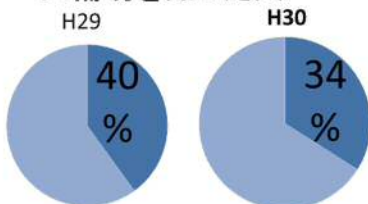
	対象事業実支出額 (千円)	「あと押しになった・ややなった」かつ「知ってから同居等を決定」(千円)
平成29年度	1,057,722	197,370
平成30年度	2,451,084	549,587

・ 移住定住の観点からの経済効果額

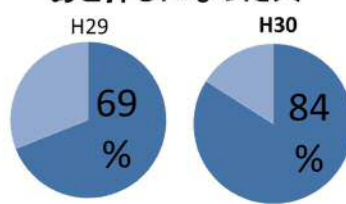
	市外からの転入世帯 (件)	対象事業実支出額 (千円)
平成29年度	8	87,875
平成30年度	13	196,667

・ その他アンケート集計結果抜粋 (H29:61/100、H30:80/106)

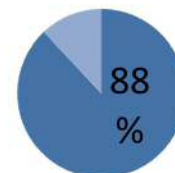
同居等決定前・同時に補助を知った人



補助金が多世帯化のあと押しになった人



多世帯化で子育ての環境良くなった人



- 養育状況で幼稚園 H29: 2 増、H30: 9 増、放課後児童クラブ H29: 1 減、親世帯で養育 H29: 3 増、H30: 3 増と家庭で子供を見る環境が整った。
- 同居等によって新たに共働きになった世帯  
⇒ H29: 2 世帯/61 世帯、H30: 5 世帯/79 世帯、
- 主婦/主夫が求職するようになった世帯  
⇒ H29: 4 世帯/61 世帯、H30: 5 世帯/79 世帯

5 令和元年度実績 (R1.8.1 現在)

予算額: 40,000 千円

実件数: 95 件 (同居等の数) 申出件数: 123 件 (過年度申出 48 件含む)

支出予定: 35,913 千円

市外からの同居等: 5 件

対象事業	引越移転	新築・取得	増築・改修	解体	合計
件数 (件)	52	58	8	15	133
金額 (千円)	2,419	23,200	3,200	7,094	35,913



## 6 次年度以降の検討

近年の少子高齢化、人口減少などの社会情勢を受け、出生率向上や子育て世代の生活基盤の安定を目指し、住まいづくりの視点から、多世帯が支えあう同居等を促進している。そのために安心感のある子育て環境づくりを推進するため、令和2年度からの事業として「“新たな”家族支えあい環境支援補助金」を検討する。

### (1) 背景

- ・ 共働き世帯が H22 : 93,391 世帯から H27 : 95,904 世帯と増える中で出産や育児と仕事が両立しやすい環境づくりとして多世帯同居等を推進する。(国勢調査就業状態：浜松市)
- ・ 多世帯が支えあう同居等を推進することにより、出生率の向上 (H29:1.53) を目指し、同時に共働きによる世帯収入の向上と市外からの移住定住の促進による労働力人口の増加を図る
- ・ 平成29年度から令和元年度の家族支えあい環境支援補助金の実績や対象者へのアンケートを基に内容を見直す。

### (2) 事業内容(案)

家族支えあい環境支援補助金の内容を見直し、新たな補助事業として実施

#### ① 現在の補助内容の変更

金額：市内の引っ越し料金は、想定より安価なため、減額する。

対象：解体は、引越後における空き家発生の抑制を目的としたが、現地建て替えが多数のため、対象から外す。

#### ② 補助内容の追加

- ・ 市外からの移住 (U I J ターン) を促進するため、引越、新築、増改築に対し加算する。  
⇒移住促進と連携
- ・ 平成31年4月1日に公表した立地適正化計画の市街地への居住誘導を促進するため、居住誘導区域外から内への移住に対し加算する。  
⇒立地適正化計画実践と連携

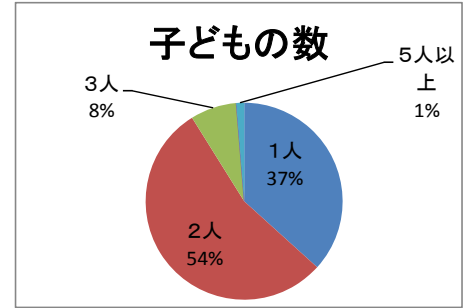
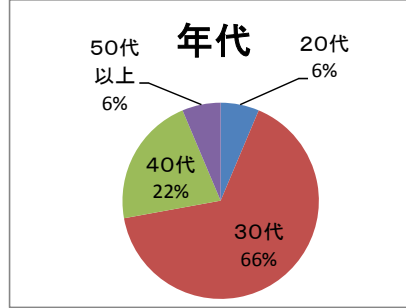
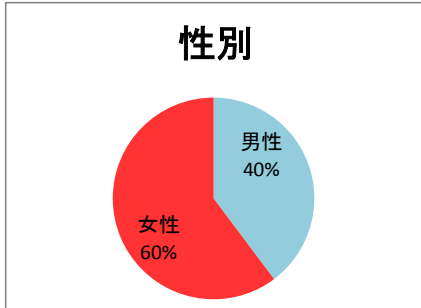
補助対象	H29～R1	R2～		備考
		市内	市外加算	
引越移転	10	減額※	追加※	市内外の想定料金を採用
新築・取得 (市街化区域内)	40	同額※	1/2追加 ※	新築・取得、増築・改修の重複は不可
増築・改修	40	同額	1/2追加	
解体	50	廃止	-	補助対象外
居住誘導区域外 から内へ	-	検討※	-	新築・取得に限る
		※最大100万円		

# 浜松市家族支えあい環境支援補助金アンケート集計結果(H30年度補助実施分)

全体数 78	問0-2 性別	男性 31	女性 47
-----------	------------	----------	----------

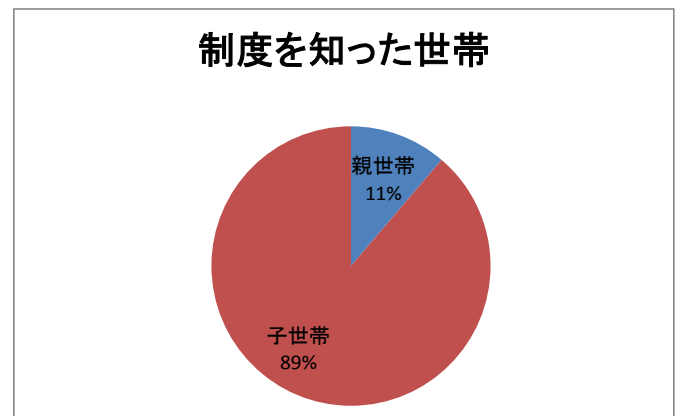
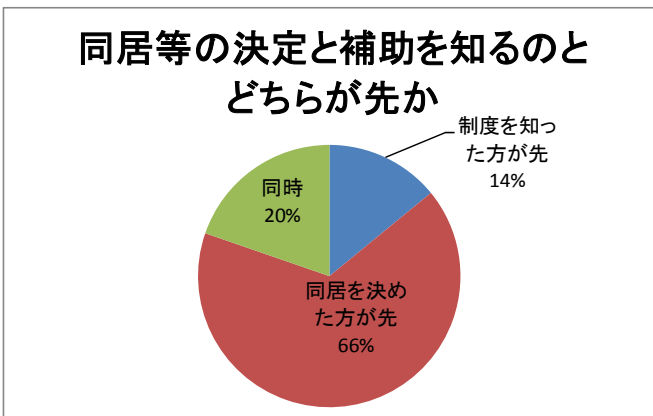
未回答除 79	問0-1 年代	20代 5	30代 52	40代 17	50代以上 5
------------	------------	----------	-----------	-----------	------------

全体数 79	問0-3 子どもの数	1人 29	2人 43	3人 6	4人 0	5人以上 1
-----------	---------------	----------	----------	---------	---------	-----------



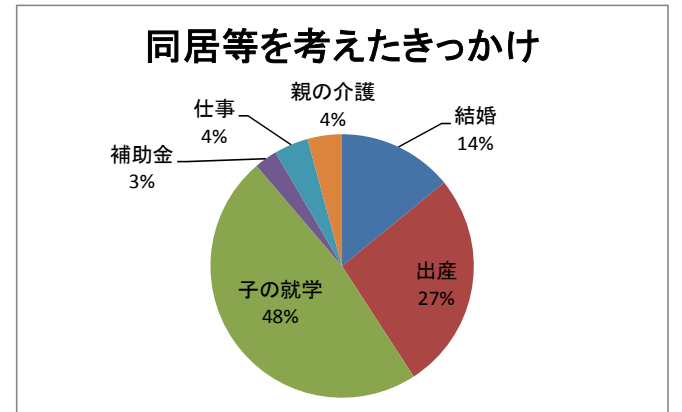
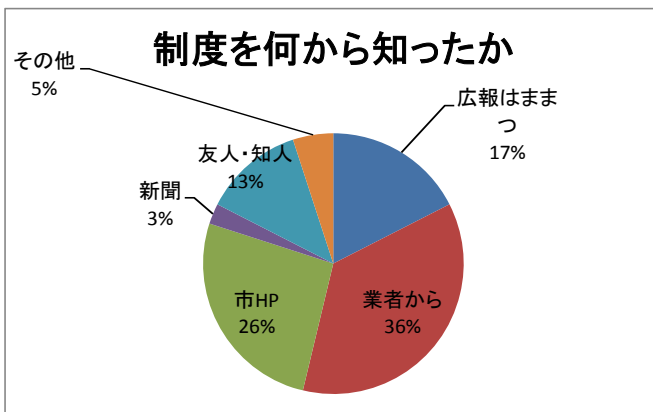
全体数 71	問1 どちらが先か	制度を知った方が先 10	同居を決めた方が先 47	同時 14
-----------	--------------	-----------------	-----------------	----------

全体数 80	問1-世帯 知った世帯	親世帯 9	子世帯 71
-----------	----------------	----------	-----------

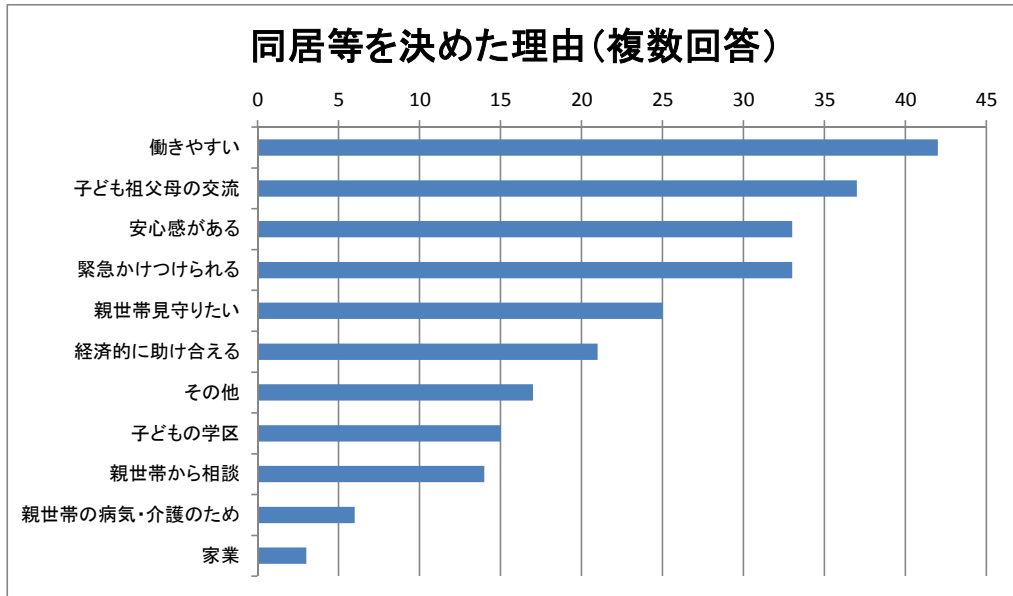


全体数 80	問1 何で知ったか	広報はままつ 14	業者から 29	市HP 21	新聞 2	友人・知人 10	その他 4
-----------	--------------	--------------	------------	-----------	---------	-------------	----------

全体数 71	問2 きっかけ	結婚 10	出産 19	子の就学 34	補助金 2	仕事 3	親の介護 3
-----------	------------	----------	----------	------------	----------	---------	-----------



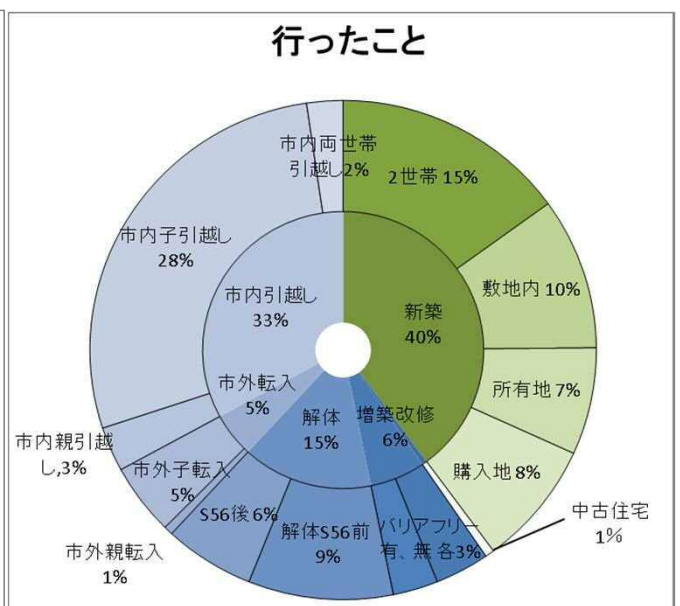
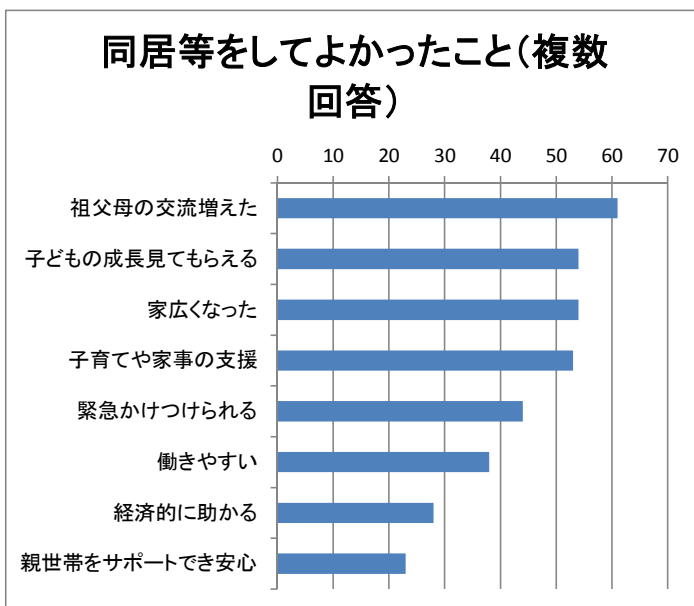
全体数	問3理由	働きやすい	子ども祖父母の交流	安心感がある	緊急かけつけられる	親世帯見守りたい	経済的に助け合える	その他
204	決めた理由	42	37	33	33	25	21	17
		子どもの学区	親世帯から相談	親世帯の病気・介護のため	家業			
		15	14	6	3			



全体数	問4	新築・2世帯	新築・親敷地内	新築・所有地	新築・購入地	分譲	中古住宅	増築改修・バリアフリーあり
173	行ったこと	26	17	12	14	0	1	6
		増築改修・バリアフリーなし	解体S56前	解体S56後	市外転入親	市外転入子	市内引越し親	市内引越し子
		5	16	10	1	8	5	48
								市内引越し親・4

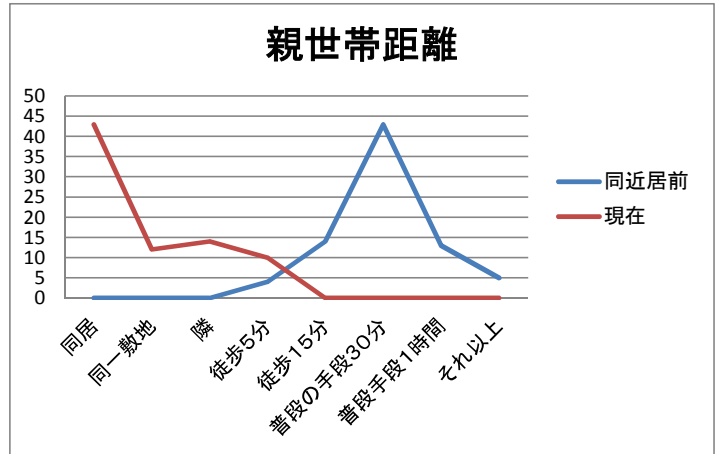
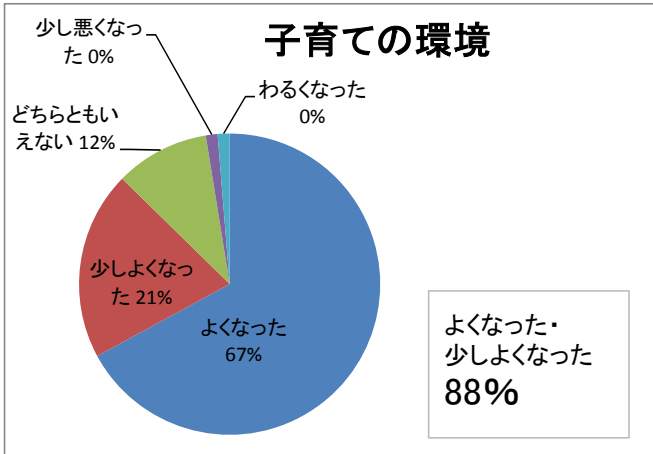
全体数	問4	1①	2	4①	5①	6①	7①
173	行ったこと合計	新築	住宅購入	増築改修	解体	市外転入	市内引越し
		69	1	11	26	9	57

全体数	問5	祖父母の交流増えた	子どもの成長見てもらえる	家広くなった	子育てや家事の支援	緊急かけつけられる	働きやすい	経済的に助かる
355	よかったこと	61	54	54	53	44	38	28
								親世帯をサポートでき安心
								23



全体数	問6	よくなった	少しよくなった	どちらともいえない	少し悪くなった	わるくなった
79	子育ての環境	53	16	8	1	1

問7		同居	同一敷地	隣	徒歩5分	徒歩15分	普段の手段30	普段手段1時
全体数	親世帯距離	0	0	0	4	14	43	13
79	同近居前	43	12	14	10	0	0	0
79	現在							
								それ以上
								5
								0



#### 【子育て環境がよくなった理由】

子育てや家事を助けてもらえるようになったから。

子どもの面倒を見てもらって助かっているから。

仕事が忙しくて自分に余裕がなくても、親に見てもらえるし、子どももよくなつてくれる。

家事を手伝ってもらえることで、子どもとむきあえる時間が増えたりして、心のゆとりができた。

第三子を妊娠中。上の子たちを見てもらったり手伝ってもらったりでき、精神的にも身体的にも負担が減ったようにおもうから。

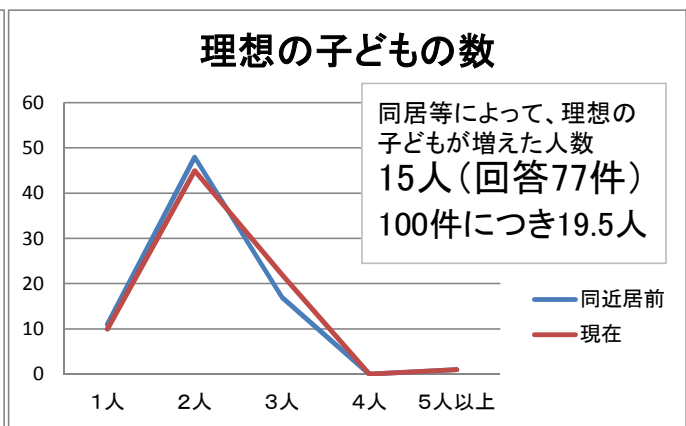
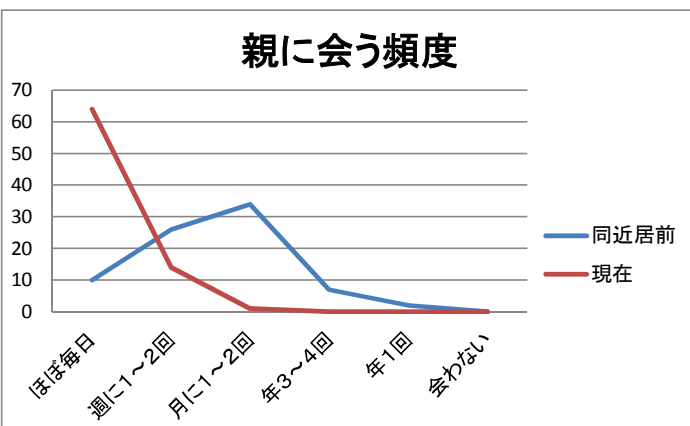
一緒に遊んでもらえる機会が多くなったため。子どもが嬉しそう。すぐ相談できる。

親に怒られたあと子どもが祖父母にフォローしてもらっている

家が広がって遊ぶ場が増えた。老人をいたわることを子に教えられる。

問8		ほぼ毎日	週に1~2回	月に1~2回	年3~4回	年1回	会わない
全体数	親に会う頻度	10	26	34	7	2	0
79	同近居前	64	14	1	0	0	0
79	現在						

問9		1人	2人	3人	4人	5人以上
全体数	理想の子どもの数	11	48	17	0	1
77	同近居前	10	45	22	0	1
78	現在					

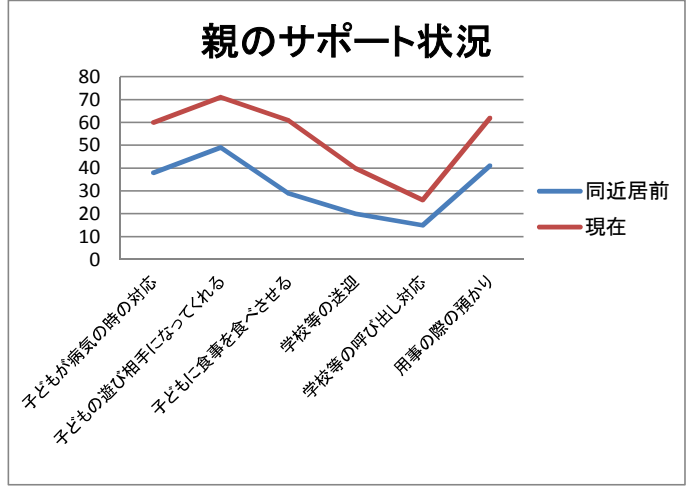
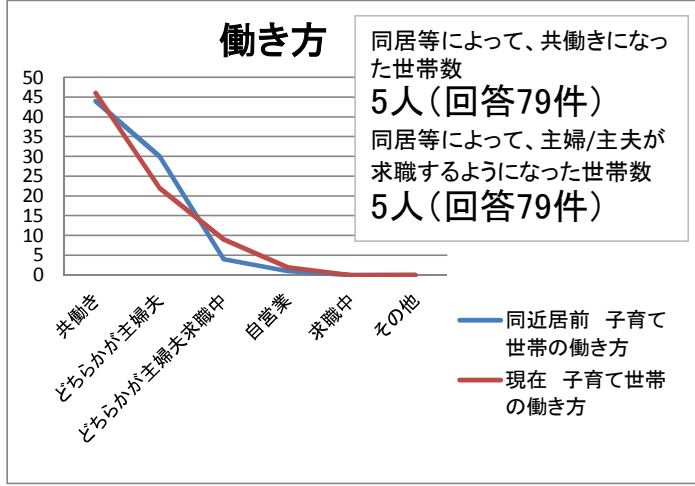


問10

全体数		共働き	どちらかが主婦	どちらかが主婦 夫求職中	自営業	求職中	その他
79	同近居前 子育て世帯の働き方	44	30	4	1	0	0
79	現在 子育て世帯の働き方	46	22	9	2	0	0

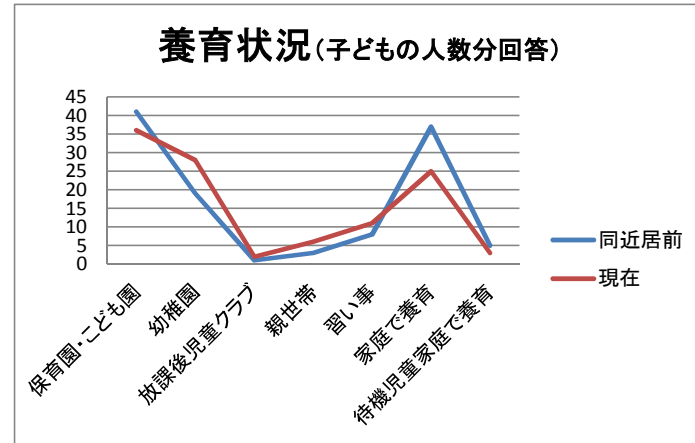
問11

全体数	親のサポート状況	子どもが病気の 時の対応	子どもの遊び 相手になつてく	子どもに食事を 食べさせる	学校等の送迎	学校等の呼び 出し対応	用事の際の預 かり
192	同近居前	38	49	29	20	15	41
320	現在	60	71	61	40	26	62



問12

全体数	養育状況	保育園・こども園	幼稚園	放課後児童クラブ	親世帯	習い事	家庭で養育	待機児童家庭で養育
114	同近居前	41	19	1	3	8	37	5
111	現在	36	28	2	6	11	25	3



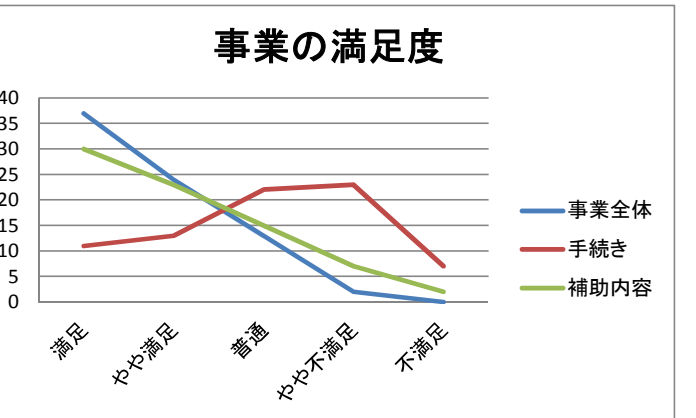
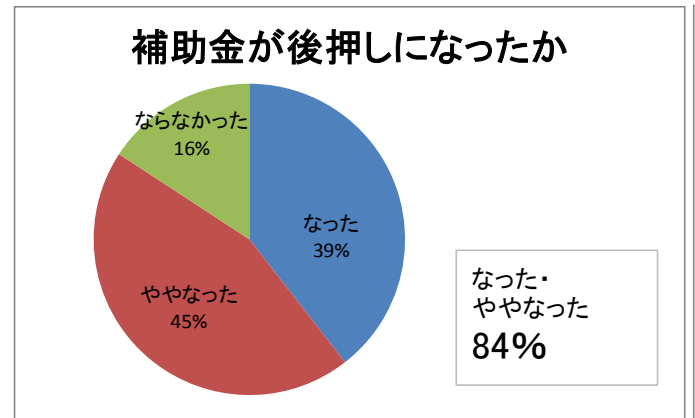
幼稚園 9増  
保育園 5減  
待機児童 2減  
親世帯 3増

同居等によって、家庭で子どもを見る環境が整った

全体数	問13 後押し	なった	ややなった	ならなかった
76		30	34	12

問14

全体数	満足度	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足
76	事業全体	37	24	13	2	0
76	手続き	11	13	22	23	7
77	補助内容	30	23	15	7	2



【浜松市家族支えあい環境支援事業における経済効果】  
EBPMアドバイザーのご意見の元、アンケートを行った集計結果

◆補助金が後押しに「なった(補助金によって踏み切ることにつながった)

かつ「補助金を知ってから同居等を決めた または 補助金を知るのと同時期に決めた」

回答80件中12件

12件の平均補助額(A) = 380,000 円 12件の平均実績支出額(B) = 18,872,572 円

12件/回答件数80件 = 15 %

全体の15%が補助金の後押しになったと推定。

この補助金により、同居・近居が実現したと推測される経済効果

H30 106件 × 15% × 1件あたりの平均補助額(A) = 6,042,000 円の補助金支出によって、

H30 106件 × 15% × 1件あたりの平均支出額(B) = 300,073,895 円の経済効果があったといえる。

◆補助金が後押しに「ややなった」かつ「補助金を知ってから同居等を決めた または 補助金を知るのと同時期に決めた」

回答80件中7件

7件の平均補助額(C) = 311,857 円 7件の平均実績支出額(D) = 26,901,782 円

7件/回答件数80件 = 8.75 %

全体の8.75%が補助金の後押しにややなったと推定。

この補助金により「よって」同居・近居が実現した可能性が高いと推測される経済効果

H30 106件 × 8.75% × 1件あたりの平均補助額(C) = 2,892,474 円の補助金支出によって、

H30 106件 × 8.75% × 1件あたりの平均支出額(D) = 249,514,028 円の経済効果があったといえる。

◆なった・ややなったの合計

19件の平均補助額(E) = 354,632 円 14件の平均実績支出額(F) = 21,830,702 円

H30 106件 × 23.75% × 1件あたりの平均補助額(E) = 8,927,861 円の補助金支出によって、

H30 106件 × 23.75% × 1件あたりの平均実績支出額(F) = 549,587,920 円の経済効果があったといえる。

【上記、抽出者のご意見】

同居して本当に良かったと思っています。今、育児休業中なので、子どもが生まれてからは24時間、ずっと子育てをしている状態です。私も、主人も初めての子なので、とにかく最初は半泣き状態で育児をしていました。実母は就業していたのであまりたよれないなかで、ほとんど一人で頑張っていました。それが、主人の実家に入ることによって、私の気持ちがすごく楽になりました。分からないこと、困ったこと、親世帯に相談できるのがとても嬉しいです。親たちも「孫の成長を見るのが生きがい」と言っていました。子どもも、じいじ、ばあばが大好きです。毎日笑顔が絶えません。お互いメリットの方が多かったんだと思います。

育休中で、主人が仕事へ行っている間、子どもと2人っきりの時、義母がお散歩につきあってくれたり、おかずをたくさん作っておすそわけしてくれたり、いろいろと気にかけてくれます。もし、同居していなかったら、育児ノイローゼになっていたかもしれません。

母、祖母、四姉妹という家族に父は孤独でしたが、孫(男3人)の同居で、娘たちは全く興味を持たなかった父の好きなもの(ウルトラマン、サンダーバード、アトム等)に孫たちがはまっていて、父がとても嬉しそうです。

以前は子世帯が県外に住んでいたため、病気(かぜ)の時や急用の時は夫婦で分担したり、かぜをひきながら子育て家事をしたりしていました。今は親世帯が近くにいるので、子どもをお願いできるとも助かっています。

離れてるときは、実家に行くのが嫌でしたが、いざ近くに住んでみると本当に助かる事ばかりで、引っ越してきて良かったなと思います。小学校入学のタイミングで越しましたが、毎日朝と帰りに外でじーじ、ばーばが待っていてくれるので、子どももとても喜んでます。感謝の毎日で逆に思いやれるようになりました。

手続き(事務)が少し大変(慣れていない書類のため)住宅メーカーとのやりとりでいけばスムーズかも

お互いの駐車場を共有し、そこに小さな菜園がある。季節の食べ物などを育て、収穫する楽しみを子どもたち、親世帯と分かち合っています。

90歳を超える祖父母と3歳の子どもと一緒に家の中であかちゃんぼをして大声でさわいでいた。元気でいてくれることもによりだが、アパート暮らしでは見ることでできない光景だと思う。

日ごろから顔を合わせることで、どんな時でもお互い助け合うことが当たり前になっている。

以前より顔をみることで、お互いの様子が分かるようになった。

第三子を妊娠中。上の子たちを見てもらったり手伝ってもらったりでき、精神的にも身体的にも負担が減ったようにも思う。

周りを気にせず、自分の家の庭で、思い切り遊ばせてあげることができる。お互いに”会いたい”と言えやすくなる距離、なにかあった時(病気、出産etc)助けてくれ、支えになってくれる。

我が家の場合は水廻りを完全別にする2世帯リフォームをし、住む前はこちらが頼ることばかりが増えてしまうと思っていたのですが、住んでみると、親世帯も快適に暮らせていると言ってきて困ったときに助け合えると、満足な様子で良かったと思います。

マンション生活だった頃にはできなかった庭の花植えや野菜の収穫なども、子ども達にとってはおばあちゃんと一緒にやれる楽しさや喜びもあるようで、子育てする上で、家族全体に心のゆとりができたと思います。毎日を充実して過ごせるようになり、おばあちゃんにも感謝しています。

休日の朝、庭で遊ぶ娘。その声を聞き、嬉しそうに窓から顔を出し手を振る父や母。私たち子世帯ももちろん働きやすくなり支えてもらい幸せですが、何より孫とそばにいれる父と母が幸せそうで少しは親孝行できたかな?と思っています。



浜松市家族支えあい環境支援補助金に関するアンケートへのご協力をお願い



浜松市では、平成29年度より、小学生以下の子育て世帯とその親世帯の家族が支えあう新たな環境づくりのための補助を始めました。

これは、住まいの子育て支援に係る新たな試みです。そのため、事業をご利用された 子育て世帯（小学生以下の子のお父様またはお母様） の方にアンケートにご協力いただき、今後の事業や利用者へのメッセージに役立てていきたいと考えています。お忙しい中恐縮ですが、今後の住宅施策推進のため、アンケートへのご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

なお、ご回答いただいた内容については、アンケート結果としてまとめ、事業の必要性等の検討や、補助金の手引き等への掲載以外には使用いたしません。

ご記入にあたりわからないことがありましたら、下記までお問い合わせください。

※アンケートはこの紙ごと同封の返信用封筒でお送りください。



アンケート提出先・問合せ先

浜松市都市整備部住宅課 TEL053-457-2076（平日8:30~17:15）  
〒430-8652 浜松市中区元城町103-2

回答者についてあてはまるものに○をお願いします。

※子育て世帯の方（小学生以下のお父様またはお母様）がご回答ください。

性別 ① 男性 ② 女性

年代 ①20代 ②30代 ③40代 ④50代以上

子どもの人数 ①1人 ②2人 ③3人 ④4人 ⑤5人以上  
(妊娠中・中学生以上の子を含めた人数)

問1. この事業をいつ、何で知りましたか。

平成（ ）年（ ）月ごろ

- |              |                       |
|--------------|-----------------------|
| 1 広報はままつ     | 5 友人・知人から             |
| 2 業者から       | 6 親世帯から（親世帯が知ったきっかけも  |
| 3 浜松市のホームページ | 1～5・7のいずれかに○をしてください。） |
| 4 新聞         | 7 その他（ ）              |



問2. 親世帯との同居や近居を具体的に計画しはじめた最も大きなきっかけはなんですか。

- 1 結婚 2 出産 3 子の就学関係 4 本補助金 5 仕事 6 親の介護

問3. 親世帯との同居や近居を決めた時期、理由としてあてはまるものをすべて選んでください。

時期 平成（ ）年（ ）月ごろ

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 理由1 子どもと祖父母の交流が増えるから | 6 緊急のときなど、すぐかけつけられるから |
| 2 子どもを見てもらえて働きやすいから  | 7 親世帯から相談されたから        |
| 3 近くにいと安心感があるから      | 8 親世帯の病気や介護があるから      |
| 4 経済的に助け合えるから        | 9 親世帯の今後を近くで見守りたいから   |
| 5 子どもに通わせたい学区があったから  | 10 家業の継承や手伝いのため       |
| 11 その他（ ）            |                       |

問4. 同居や近居にあたって、子育て世帯または親世帯が行ったことをすべて選んでください。

- 1 住宅の新築（以下から選んでください）  
 2世帯住宅  親世帯住宅の敷地内  その他所有していた土地  購入した土地
- 2 分譲住宅の購入（土地付）  
3 中古住宅の購入（土地付）  
4 住宅の増築や改修（段差の解消や手すりの設置を した ・ しなかった ）  
5 住宅の解体（ 昭和56年以前の住宅 ・ 昭和56年以降の住宅 ）  
6 市外からの転入（ 親世帯 ・ 子世帯 ）  
7 市内の引越し（ 親世帯 ・ 子世帯 ）

問5. 実際に親世帯と同居・近居を行ってよかったと思うものをすべて選んでください。

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| 1 子どもと祖父母の交流が増えた  | 5 緊急のときなど、すぐかけつけられて安心 |
| 2 子どもを見てもらえて働きやすい | 6 子どもの成長を見てもらえる       |
| 3 経済的に助かっている      | 7 子育てや家事の支援を受けられる     |
| 4 家が広くなり住みやすくなった  | 8 親世帯をサポートできて安心       |
| 9 その他（ ）          |                       |



問6. 同居・近居を行って、子育ての環境はよくなったと思いますか。そう思った理由も教えてください。

- 1 よくなった 2 少しよくなった 3 どちらともいえない 4 少し悪くなった 5 悪くなった  
そう思った理由（ ）





＝同居・近居を行う前後の変化についてあてはまる数字をそれぞれ選んでください＝

		同近居前	現在
問7	最も近い親世帯との距離	①同居・②同一敷地・③隣・④徒歩5分・⑤徒歩15分・ ⑥車やバス等普段の手段で30分以内・ ⑦車やバス等普段の手段で1時間以内 ⑧それ以上	
問8	どちらかの親世帯と会う頻度(合計)	①ほぼ毎日・②週に1～2回程度・③月に1～2回程度・ ④年3～4回程度・⑤年1回・⑥会わない	
問9	理想の子どもの数	①1人・②2人・③3人・④4人・⑤5人以上	
問10	子育て世帯の働き方	①共働き(パート・アルバイト含む)(ひとり親で働いている方含む) ②一人が働き、一人は主婦/主夫で、仕事を探していない ③一人が働き、一人は主婦/主夫で、仕事を探している ④自営業 ⑤どちらも働いておらず、仕事を探している ⑥その他	
※問11、問12は、同居・近居後に第1子を出産した場合は現在のみお答えください。			
問11	親のサポート状況	子供が病気のとき対応してもらおう ①ある ②ない	
		子どもの遊び相手になってもらう ①ある ②ない	
		子どもに食事を食べさせてもらう ①ある ②ない	
		子供の学校・幼稚園・保育園等の送迎 ①ある ②ない	
		子供の学校・幼稚園・保育園等からの急な呼び出しへの対応 ①ある ②ない	
	用事の際に預かってもらう ①ある ②ない		
問12	養育の状況	①保育園・こども園に預けている ②幼稚園に預けている	第1子
		③放課後児童クラブに通っている ④親世帯に預けている	第2子
		⑤放課後は部活や習い事をしている	第3子
		⑥家庭で養育し、保育園や放課後児童クラブ等の利用は現在申請していない ⑦保育園や放課後児童クラブ等の利用を申請したが、空きがなかったため、家庭で養育している	第4子
			第5子

問13. 同居・近居の実現へ、浜松市家族支えあい環境補助金が後押しになりましたか。

- 1 なった(補助金によって同居近居の実施時期が早まるなど、踏み切ることにつながった)  
2 ややなった 3 ならなかった

問14. 浜松市家族支えあい環境補助金の満足度について教えてください。

- 事業全体 1 満足 2 やや満足 3 普通 4 やや不満足 5 不満足  
手続き 1 満足 2 やや満足 3 普通 4 やや不満足 5 不満足  
補助内容 1 満足 2 やや満足 3 普通 4 やや不満足 5 不満足



問15. 子育てに有効な住宅施策について、ご意見がありましたらご記入ください。

[ ]

☞次が最後の質問です！

問 16. 最後に、同居・近居したことにおける、幸せな光景を教えてください。

(この問いへの回答は、補助金申請の手引き等に掲載する場合があります。)



ご協力ありがとうございました！

